

第31回全京都車いすハンドボール大会 兼全国交流大会実施要項

1. 目的 車いすハンドボールが、地域・施設・学校・クラブ等で実施され、障害者スポーツとして定着しつつある。
更にこれを普及・振興し、障害のある人々のスポーツの日常化と、スポーツ活動に参加する人々の層の拡大を図り、あわせて広く交流の場とすることを目的とする。
2. 主催 (一社) 京都障害者スポーツ振興会
京都日吉ヶ丘ライオンズクラブ
(公財) 京都市障害者スポーツ協会
3. 後援 (予定) 京 都 府・京 都 市
京都府教育委員会・京都市教育委員会
(公財)京都府スポーツ協会・京都府ハンドボール協会
(公財)京都新聞社会福祉事業団
4. 開催日時 令和2年11月22日(日)
午前9時30分～午後4時30分
受付 9:00～9:30
開会式 9:30～9:45
試合開始 10:00
閉会式 16:00～16:30
5. 会場 京都市障害者スポーツセンター 体育室
京都市左京区高野玉岡町5 TEL075-702-3370
6. 競技方法
 - (1) 競技規則は、京都障害者スポーツ振興会編「車いすハンドボール競技規則」(平成4年10月1日制定)及び大会申し合わせ事項による。
 - (2) チームは、監督1名、コーチ2名、選手10名 計13名以内とする。また、監督・コーチは選手を兼ねることができる。その場合、選手名簿にも氏名を記入すること。
 - (3) 参加チーム数により、トーナメント戦方式またはリーグ戦方式とし、競技力・安全性を考慮して、二部に分けることがある。
 - (4) 競技運営上、試合時間を短縮することがある。
7. 表彰 1位～3位のチームには賞状、盾、メダルを授与する。
8. 参加申込
 - (1) 所定の申込用紙に必要事項を記入し、下記あてに郵送又はFAXで申し込むこと。
(11月9日(月)必着のこと)
〒606-8106 京都市左京区高野玉岡町5
京都市障害者スポーツセンター内
一般社団法人 京都障害者スポーツ振興会
TEL 075-712-7010 FAX 075-712-7015

- (2) 参加料 1チーム 2,000円
(当日、受付で納めてください)

9. 新型コロナウイルス感染症予防について

- (1) 当日はマスクを持参し、主催者側の感染予防策に従ってください。
- (2) 受付時に検温を行います。
- (3) 次の方は参加を見合わせてください。
 - ・受付時の検温で平熱より概ね1度以上熱が高い方又は37.5度以上の方
 - ・咳、倦怠感、臭覚や味覚の異常があるなど体調が良くない方
 - ・2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある方
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われている方がいる場合
- (4) 当大会参加後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに主催者に報告すること。
- (5) 参加申込されたチーム全員の大会前2週間体調チェックシート(提出用)を京都障害者スポーツ振興会ホームページからダウンロードし、大会前14日間と当日の体調を記入して、必ず受付で提出すること。
- (6) その他の感染予防策及び注意事項等については、参加チームの代表者へ別途通知します。
- (7) 京都市障害者スポーツセンターでは、新型コロナウイルス感染予防対策として、利用制限人数が定められているため、開会式、閉会式及び試合待機チームの体育室への入室を制限し、控室等で待機いただく場合がありますのでご了承願います。

10. その他

- (1) 競技中の事故等については、応急手当の他、主催者が加入する保険の範囲(けが、骨折等が対象)で保障する。**※出場に際しては、医師の診断を受ける等万全な体調で出場のこと。**
- (2) 会場は駐車台数が制限されますので、可能な限り公共交通機関を利用すること。どうしても車を必要とする方は、申込書にその旨記入のこと。(事務局で調整し連絡する。)
- (3) ホームページ、マスメディア等に写真や大会成績が掲載されることがありますので、あらかじめご了承ください。
- (4) 今後の新型コロナウイルス感染症の流行状況等により中止する場合があります。
- (5) 問い合わせは、上記の一般社団法人京都障害者スポーツ振興会まで

大会申し合わせ事項

チーム編成について、競技規則では上肢に障害の伴う者2名以上含むとあるが、常時競技を行う6名の選手の内訳は次のとおりとする。

1. 車いす使用者(車いす使用者及び下肢障害者)2名とし、障害のない者1名含んでもよい。ただし、児童生徒及び障害児者施設等でチームを編成する場合は、車いす使用者2名の要件を満たさなくてもよい。
(例: 知的障害児者5名と指導者1名での参加も可能)
2. 1の基準でチームが編成できない時やボランティア等だけでチームを編成するときはオープン参加とする。